難聴児支援について

推進協第３回専門部会	
R8.10.9	資料4-3

東京都難聴児相談支援センターの概要

実施主体　東京都（委託事業）

受託法人　公益財団法人　聴覚障害者教育福祉協会

運営日時　相談受付時間：９：００～１７：００　　運営日：週５日（日曜日開庁。水曜日・土曜日閉庁。）

所在地　東京都豊島区南大塚３－４３－１１福祉財団ビル６階







相談方法　電話、メール、来所、オンライン（相談は無料）

相談体制　相談員１４名
（元聴覚障害特別支援学校・小学校（難聴学級）教員
言語聴覚士、手話通訳士、難聴児の子育て経験者）

対象者　難聴児とその家族、関係機関（保健所、保育所等）の職員等

相談支援
- 難聴児の家族等の**相談を受け**、手話等のコミュニケーション手段の助言や関係機関の紹介等を実施
- 家族交流会の実施など、**家族同士のネットワーク**を構築

情報提供
- **専用のポータルサイト**により、**聴覚に係る情報を一元的に提供**（手話・人工内耳、医療・療育機関の情報等）
- 保健所、保育所など関係機関からの問合せにも対応

人材育成
- 難聴児に関わる**人材（保健師等）の対応力強化**に向けた**講習会**の実施
- **リーフレット・冊子、動画**等を活用し、基礎的な知識を都民に普及

相談実績（令和７年度）

【相談実人数】

難聴児・者(A)		**76人**
内訳	19歳以上	5
	16～18歳	2
	13～15歳	0
	7～12歳	12
	0～6歳	56
	不明	1
関係機関(B)		**23機関**
内訳	区市町村	13
	療育教育機関	5
	医療機関	1
	その他	4
合計(A)+(B)		**99**

【相談時期】

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	合計
新生児聴覚スクリーニング検査後～精密検査前	11	2	1	1	0	0	1	16
精密検査後～療育開始前	10	4	2	0	2	1	0	19
療育開始後	0	2	2	2	8	5	1	20
不明	0	0	1	0	0	0	0	1
合計	**21**	**8**	**6**	**3**	**10**	**6**	**2**	**56**

【相談方法】

相談方法	人数
電話	50
来所	12
フォームメール	10
メール	3
オンライン	1
合計	**76**

【相談内容】

相談内容の分類	件数
療育教育に関する問題	21
発達・言語コミュニケーション	14
子育て	12
補聴	10
医療に関する問題	9
難聴・診断	9
今後の見通し・進路	7
家族・経済	2
発達支援	2
社会資源・制度	1
その他	2
合計	**89**

講習会等実績（令和７年度）

対象者	形式	目的・内容	参加実績
区市町村 （保健師）	オンライン研修 (希望者は難聴児センターで受講)	【目的】 乳幼児に身近な母子保健を担う保健師の聴覚障害に関する理解を深め、難聴(疑い)児への対応力強化を図るため 【内容】 センター相談員による講義、検査デモ	第1回 オンライン申込：**31名** 現地参加：**11名** 第2回 オンライン申込：**36名** 現地参加：**14名**
難聴児の保護者 難聴児の療育に携わる職員	難聴児センターでの講演会 (手話通訳あり)	【目的】 手話を母語とする聴覚障がい者家庭の子育てを知ることを通して、手話の理解を深める。 【内容】 手話で難聴児を育てた難聴者による講義	申込：**20名**
障害児通所施設保育所等	動画配信	【目的】 難聴（疑い）児支援に 携わる児童発達支援事業所、認可保育所等職員の基礎的対応力強化を図る。 【内容】 言語聴覚士による講義等	**1,084 回**再生 (R8.3.10 時点)
医師 言語聴覚士 助産師等	オンライン研修	【目的】 東京都難聴児相談支援センターと医師・言語聴覚士・助産師等の医療関係者が連携して難聴児への理解を深めることにより、難聴児の福祉の向上を図る。 【内容】 耳鼻咽喉科医師等による講義	参加者：**143名**
難聴児と その保護者	難聴児センターでの交流会	【目的】 難聴児の家族のネットワーク作りを図り、交流による保護者の情報交換・情報収集を促進 【内容】 保護者交流会、子供お楽しみ会	申込：**7 家族**